

中央地区老人クラブ連合会

○ 地域紹介

中央地区の特徴は、何といても江戸時代に東海道五十三次の一つとして栄えた川崎宿が現在の川崎の原点であり、今もその面影を偲ぶ施設があちこちにあり、観光コースとなっています。

中央地区は、市の玄関であるJR川崎駅、京急川崎駅の東側にあり、市役所等の行政センター、大手銀行、昔からの商業施設を有する、中枢的一帯に位置しています。また、富士見公園一帯には野球場・テニスコート・文化施設があり、更に全市の総合文化・スポーツ施設として充実すべく再整備が検討されています。別の面では遊戯施設の多い地区として知られており、公営ギャンブルとしての競輪場・競馬場やチネチッタなどの映画館、ライブハウス、カラオケ、パチンコ店などの多い地区でもあります。

以上のように、中央地区は若者から高齢者まで、皆さんに愛される魅力を持った活気のある地区です。

○ 設立経過

本市における老人クラブ第1号は幸区小向高砂会（昭和30年2月設立）ですが、中央地区老人クラブ連合会における第1号は、昭和33年に現大島3丁目のクラブ設立、その後、昭和34年～39年まで10クラブ、40年～45年に15クラブ、46年～49年に10クラブ、50年～54年に8クラブ、56年～57年に3クラブ、平成になって5クラブが結成されましたが解散クラブもあり令和3年4月現在50クラブとなりました。

川崎市老人クラブ連合会の発足が昭和37年7月ですが、その当時の川崎市老人クラブ連合会副会長として活躍され、現在の中央地区老人クラブ連合会発足の功労者である川崎駅前本町田原屋・田原福太郎氏に敬意を表します。

現在、中央地区管内で老人クラブ未設立の町会は、駅前本町・堤根・中島1丁目～3丁目となっており、設立が待たれております。

○ 設立年月日

中央地区老人クラブ連合会の設立年月日については、資料不足で明確ではありませんが、川崎市老人クラブ連合会30年誌による推測すると、任意団体時代の昭和36年又は37年頃と思われます。

○ 活動目的

- 1 全国三大運動「心とからだの健康づくり」・「高齢者を相互に支える友愛活動」・「花のある街・ゴミのない街・奉仕活動」の実践
- 2 地域における仲間づくり・加入促進
- 3 生活を豊かにする楽しい活動（スポーツ・各種サークル・趣味・旅行等）
- 4 地域を豊かにする社会活動（ボランティア・友愛・奉仕・文化。芸能・世代間交流等）
- 5 組織活動の点検（運営の基本確立・誰もが集える“たまり場”づくり等）
- 6 情報の共有化（会報発行等）
- 7 後継リーダー育成等

○ 区・地区老連の組織

連合会長（統括）

- 副会長・広報部長・・・・・・会報の編集発行等
- 副会長・文化部長・・・・・・演芸大会・趣味の作品展・友愛等
- 副会長・体育部長・・・・・・スポーツ大会・ゲートボール・グラウンド・ゴルフ大会他
- 会計・・・・・・・・・・・・報告書等、庶務一般
- 女性部（女性委員会）・・・・市老連委員2名・区老連委員2名
- 中央第1地区理事 5名
- 中央第2地区理事 4名
- 渡田地区 理事 4名
- 大島地区 理事 4名

○ 主な区老連の年間行事

毎月	4地区における会長会議 三役会
4月	会計監査 総会
5月	
6月	
7月	区老連演芸大会
8月	中央・大師・田島三地区合同健康づくり講演会
9月	全国一斉「社会奉仕」 市内統一美化活動
10月	区老連スポーツ大会
11月	区老連ゲートボール大会 市民祭り参加
12月	中央老連リーダー研修会 三役・女性員合同会議
1月	中央老連新年会
2月	中央・大師・田島三地区合同友愛チーム研修会 趣味の作品展 区老連グラウンド・ゴルフ大会
3月	区老連理事会

○ 友愛チーム活動紹介

中央地区老連では、単位クラブ毎に1友愛チームが結成されており、現在45チームがそれぞれ活動しています。

訪問にあたっては、複数で対応し、活動内容や頻度はそれぞれの地域の特性と活動員（構成員）の状況、訪問される本人や家族のニーズに合わせて柔軟に対応するよう心がけています。

訪問活動としては、まず「話し相手」「元気づけ」「勇気づけ」を基本としていますが、必要に応じて、家事援助・生活援助（買物・食事・補修・整理・清掃等）外出援助・介護援助等を

行っています。

訪問記録は勿論のこと、構成員同士の情報の共有化を図り、民生委員や他団体との連携を密にすることが大事であると考えています。